

2. 脊髄腫瘍

○

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

No.	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) / 昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ						
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法				ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容						
						体外照射	定位放射線療法	IMRT	小線源治療			治療内容	治療実績	医師の専門分野				
1	脳神経外科	10	7	状況	○	○	○	×	○	×	脊髄腫瘍全般を治療対象としていますが、髄膜腫、神経鞘腫などの硬膜内腫瘍に対しては低侵襲である片側椎弓切除術により早期離床を図っています。	ア	脳神経外科 http://www.oph.gr.jp/medical/treatment/noushinkei/	掲載あり	掲載あり	掲載あり		
				実績	あり	あり	あり	なし	なし	なし		イ	http://					
2	放射線治療科	2	2	状況					○	○	○	×	脊髄腫瘍に対して、3次元放射線治療、定位放射線治療、強度変調放射線治療が可能です。	ア	放射線治療科 http://www.oph.gr.jp/medical/treatment/housha-t/index.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
				実績					あり	なし	なし	なし		イ	http://			
3				状況										ア	http://			
				実績										イ	http://			
4				状況										ア	http://			
				実績										イ	http://			
5				状況										ア	http://			
				実績										イ	http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況
 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること

昨年の治療実績ありの疾患名
 ※平成25年1月1日~12月31日
 例: 脊髄腫瘍
 脊髄腫瘍